



広報

つがる

2005
4.15
No.5

●市の人口と世帯数（平成17年4月1日現在） ・人口 40,195人（男 19,303人 ・女 20,892人） ・世帯数 13,058世帯



おにいさん、おねえさん 30シキネ!

4月7日、市内の小・中学校で入学式が行われ、小学校（21校）363名、中学校（7校）386名の新入学がありました。

下繁田小学校（稲垣町 全校児童数17名）では、2名の新入学児童が「おにいさん、おねえさんこれからよろしくお願いします」と元気よくあいさつしていました。

【主な内容】

- ・助役、特別参与就任あいさつ 2
- ・収入役、教育長就任あいさつ 3
- ・各委員決まる 4
- ・つがる市出張所「すまいるプラザ」オープン 5
- ・リンゴ大雪被害状況視察・交通死亡事故ゼロ1年表彰・児童生徒支援ネット発足 6
- ・つがる市商工会発足・つがる地区交通事故防止総決起集会・食生活改善推進員会設立総会・青年海外協力隊に参加 7
- ・業務内容と職員紹介・直通電話のおしらせ .. 8
- ・おしらせ 9～10

収入役・初代教育長が就任

秋田谷 要蔵



●特別参与

(下車力町盛野)

任期：平成17年4月4日～平成19年4月3日

佐藤 昭三



●助役

(森田町大館)

任期：平成17年4月1日～平成21年3月31日

重要課題を処理

私は、このたびつがる市の特別参与を拝命しました。

合併後の円滑な市政運営と均衡ある地域の発展、将来の姿を早急につくる必要があるため、地域の事情をよく知り、行政、合併協議に携わってきた前車力助役の視点から助言を得たいとの市長のご配慮により、新たに特別参与という職制がつがる市議会に於いて承認、制定されました。

特別参与として任ぜられましたからには、これまで行政に取り組んで参りました経験を生かし、合併に伴う地域の諸問題に対処し、住みよい街に仕上げて行くのが職務であり、全力で努力してまいります。

今後は、市民の皆様と共につがる市の円滑な市政運営と新市としての一体感を醸成するため、全力で努力していく所存ですので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。つがる市特別参与就任のあいさつといたします。

市の一体化に向け

このたび助役という大役を拝命し、責任の重さに身の引き締まる思いをしております。

私は、福島弘芳市長とは、木造新田合併協議会の会長と副会長という立場で、ともに新市発足に向けて協調してきました。森田村職員30年、村長13年の経験をしてきましたが、助役の仕事は初めてであります。助役の仕事は、市長を補佐していき、また職員を監督する仕事をしてかなければなりません。

福島市長は、いろいろな公約を掲げています。その公約を速やかに実行できるよう補佐して行きたいと思います。特に力を入れているのが、市民の意識の一体化ということで、それを強く出していきたいと思います。

五町村がひとつの自治体となった訳ですので、議会や職員との信頼関係をしっかりと築き、円満な市制を目指し、市の一体化に向け最大限の努力を払います。

初代助役・特別参与・初代

小
林
千代喜



●
教育長

(稲垣町下繁田)

任期：平成17年3月31日～平成21年3月30日

成
田
昭
司



●
収入役

(柏桑野木田)

任期：平成17年4月1日～平成21年3月31日

市民とともに歩む教育を

五町村の合併という歴史的な大事業で誕生した「つがる市」教育長のご指名をいただきその責務を重く受け止めております。

近年、少子高齢化、国際化、情報化、価値観の多様化など教育を取り巻く社会環境は急激に変化しており、これに対応すべき教育課題も山積しております。

教育委員会といたしましても、国を挙げて教育改革の大きな流れの中で、旧五町村の過去の成果を踏まえつつ、家庭・学校・地域を始め広く市民と一体となって様々な教育課題に取り組むと共に、新市施策の基本目標であります「個性と郷土を大切にする心豊かな人づくり」の具現化を目指し、誠心誠意努力を傾ける所存であります。

何卒、ご理解とお力添いを賜りますようお願い申し上げます。

つがる市の金庫番として

数日前までは、理事者に対峙する議会側の席に座っていたわけですが、三役就任は初めての経験で、大変重責に感じ、気が引き締まる思いであります。

今度は立場が逆転して、大勢の議員を前に威圧感を感じるようになるかもしれませんが、つがる市の金庫番としての重責を全力で務めてまいりたいと思う所存であります。

合併協議会では小委員会の委員長として新市の建設計画作りにも携わってきたが、近いというのは案外知らないことが多いもので、合併前は隣の町村の施設などを見る機会はほとんどありませんでした。新市になってはじめて知ったことがいっぱいあり、まだまだ勉強が必要です。

福島市長をトップとして、つがる市政の発展のため、市民の幸せのために、誠心誠意最大限の努力をして、努めてまいりたい所存であります。

各委員決まる

つがる市議会 3 月定例会で、監査委員の選任、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、選挙管理委員会委員の選任について同意を得られ各委員が決定しました。その後、各委員会が開催され、委員長、委員長職務代理者等が決まりました。

●監査委員



石田 基
(木造菊川)
〈任期〉
17年 3 月30日～
19年 2 月10日



鎌田 眞正
(木造福原)
〈任期〉
17年 3 月30日～
21年 3 月29日



鳳 至 法 英
(柏桑野木田)
〈任期〉
17年 3 月31日～
19年 3 月30日



前田 新 一
(森田町山田)
〈任期〉
17年 3 月31日～
18年 3 月30日



小 林 千代喜
(稲垣町下繁田)
〈任期〉
17年 3 月31日～
21年 3 月30日



白 戸 耕 市
(富范町藪分)
〈任期〉
17年 3 月31日～
20年 3 月30日



長谷川 良 幸
(木造浮巣)
〈任期〉
17年 3 月31日～
21年 3 月30日

○委員

○教育長

○委員長職務代理者

○委員長

●教育委員会



鳴 海 功
(牛瀨町瀨上)
〈任期〉
17年 3 月31日～
20年 3 月30日



佐々木 保
(稲垣町千年)
〈任期〉
17年 3 月31日～
20年 3 月30日



奈 良 利 治
(森田町上相野)
〈任期〉
17年 3 月31日～
20年 3 月30日



長 内 義 明
(木造鶴泊)
〈任期〉
17年 3 月31日～
20年 3 月30日



工 藤 稔
(柏桑野木田)
〈任期〉
17年 3 月31日～
20年 3 月30日

○委員

○委員長職務代理者

○委員長

●固定資産評価審査委員会



成 田 久
(柏桑野木田)
〈任期〉
17年 3 月30日～
21年 3 月29日



三 上 博
(稲垣町沼館)
〈任期〉
17年 3 月30日～
21年 3 月29日



野 宮 兼太郎
(富范町荘野)
〈任期〉
17年 3 月30日～
21年 3 月29日



乳 井 三 一
(木造林)
〈任期〉
17年 3 月30日～
21年 3 月29日

○委員

○委員長職務代理者

○委員長

●選挙管理委員会



テープカットをして出張所の開所を祝う関係者

つがる市出張所 「すまいるプラザ」オープン

土日、祝日も業務

四月一日、イオン柏ショッピングセンター西中央口に、つがる市出張所「すまいるプラザ」がオープンしました。

開所式は、福島弘芳市長や成田昭司収入役、成田清繁議長、同ショッピングセンター村山悦朗ゼネラルマネージャーらおよそ五十人が出席して行われ、除幕とテープカットをしてオープンを祝いました。



第1号の証明書を発行

開所式で福島市長は「出張所の設置は、快適で便利な地域社会づくりの一環で、つがる市の商業圏の中心にあるショッピングセンターへの開設であり、多

くの市民に利用されることを願います」とあいさつしました。出張所は同ショッピングセンターの西入り口そばに設けられ、広さ三〇平方メートルで五人の職員が対応します。

定休日は年末だけで、土日、祝日も午前十時から午後七時まで窓口が開かれているため、買い物ついでの利用が可能になるなど市民サービスの向上が期待されています。

出張所では早速業務を開始し、住民票の交付を受けた木造千代町の自営業、瓜田廉二さんは「買い物ついでに用事を済ませるのが大変便利です。土日も開いているのはうれしい」と話していました。

つがる市出張所「すまいるプラザ」 の主な業務内容

- 【定休日】 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
【営業時間】 午前10時から午後7時まで
【電話番号】 0173-27-5021

《主な業務》

市民課の業務

住民票、印鑑証明、戸籍証明、戸籍の附票
ただし、印鑑証明のカードは、本庁または支所で更新していただいたカードに限ります。

税の業務

所得証明、課税証明、非課税証明、事業証明（法人のみ）、納税証明、資産証明（現年度のみ）、評価証明（現年度のみ）、公課証明（現年度のみ）

会計課の業務

市民税（普通徴収のみ）、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、下水道使用料、住宅使用料、保育料の納付
ただし、現年度分の納付書を持参し、現金で納付できる方に限ります。

その他

行政資料各種
市のイベント情報や観光ガイド
各種案内パンフレット

※各種届出は、本所又は支所で手続きをして下さい。

予想以上の雪害

市長リンゴ大雪被害状況を実情視察

三月二十九日、福島市長が、今冬の大雪によるリンゴの樹への被害調査のため、柏、森田地区の園地を視察し、枝折れなどの実情を確認しました。

二月十六日時点では積雪が一四〇cmから一〇〇cmと深く、わい化樹高の三分の一から四分の一が埋没しており、わい化樹での雪害状況は確認できなかったが、積雪深が一〇〇cmを超える

と被害が開始するという試験結果から、時間の経過に伴い被害がでることが予想されました。



リンゴ園で雪害状況を確認する福島市長

三月二十二日現在、雪解けが進み積雪深は一〇〇cmから六〇cm程度まで低下しましたが、融雪による沈降により、わい化樹を中心に雪害の発生が確認されました。被害程度の多くは「少」程度でしたが、一部においては、普通樹特に樹高が低いものにおいても雪害が確認されました。

調査は福島市長や市の担当者、J A つがる、つがる地域農業改良普及センターの関係者で実施し、柏、森田の両地域の園地計四カ所を回りました。

市内ではおよそ五百畝のうち十三畝の園地で六千三百本余の樹に、雪による枝折れなどの被害が出ており、被害額は六百四十三万四千円で、国の補助対象が六・五畝の二千八百四十八本となっています。

調査を行った福島市長は「被害が大きく驚いている。補植苗木購入に国が五〇%、県が一〇%の補助を行うなど、対応に万全を期したい」と話していました。

交通死亡ゼロ1年達成

県から表彰



蝦名武副知事から表彰状を受取る福島市長

交通死亡事故ゼロを継続していく

3月28日、交通事故死亡ゼロ1年を達成したつがる市が、県から表彰を受けました。

表彰は県庁で行われ、福島市長が蝦名武副知事から表彰状を手渡されました。福島市長は「今後も警察など関係団体と連絡を取って、交通事故ゼロを継続していきたい」とあいさつしました。

市では、合併前の平成16年3月27日、旧柏村内の国道で、案内標識に衝突して死亡、以来交通事故がなく、27日で1年を達成しました。

「児童生徒支援ネット」を発足

つがる市警察署と市教育委員会



調印を行う奈良署長(左)と半田教育次長

四月一日、市警察署と市教育委員会は、互いに情報を交換し連携することで、少年の非行や犯罪被害を防止して健全育成を図る目的で「児童生徒支援ネット」(通称・HOP、ハート・オブ・パートナーシップ)の協定を締結し、松の館で調印式が行われました。

HOPは、警察署と市教育委員会、市立学校が児童生徒の問題行動や犯罪被害の防止、救済に関する情報に関して、本人や保護者が同意した部分を共有し、

必要に応じて担当者同士が面接や電話連絡を行い、子供たちを犯罪から守る枠組みづくりを進めるものです。

協定は、警察側は万引きなどの非行を犯した児童生徒が通う学校に非行の内容を連絡、また学校側は子供が連れ去りや声掛け、強制わいせつなどの犯罪被害に遭った場合、警察側に本人らが同意した部分で情報提供を行うなどを約束しています。

締結にあたり、半田教育次長は「学校と教育委員会、警察署と連携し、子供を犯罪から守りたい」、奈良利男つがる市警察署長は「子供たちを正しい方向に向かわせたい」と話していました。



大会で交通安全を呼び掛ける福島市長



テープカットする関係者

商業を活性化

つがる市商工会が発足

四月一日、木造町商工会、森田村商工会、柏村商工会、稲垣村商工会、車力村商工会が合併して「つがる市商工会」が発足しました。

つがる市の商工業者数は一、二一五名のうち小規模事業者数は一、〇〇七名となっており、商工会員数は八八〇名で加入率が七二・四三%となっています。つがる市商工会長には蝦名鐵之助元稲垣村商工会長、副会長には三上博元車力村商工会長、葛西豊四郎元柏村商工会長、監事

には川嶋靖三元木造商工会長、乳井章男元森田村商工会長が就任しました。

事務所は旧木造町商工会館に置き、各商工会は支所になりました。

同日行われた、銘板除幕式には、佐藤昭三助役や三橋一三県議らがおよそ五十名が出席して行われ除幕とテープカットをして発足を祝いました。

銘板除幕式で蝦名鐵之助会長は「商工会を取り巻く状況は厳しい現状ですが、つがる市商工会が発足できたことは、非常にうれしいことです。知恵を絞って出し商業を活性化させていきたい」とあいさつしました。

交通事故のない安心な

つがる市にしましょう

つがる地区交通安全防止総決起集会

四月六日、松の館で、つがる地区交通安全防止総決起大会が行われ、関係者およそ二百人が出席して交通安全を誓いました。

旧木造地区五町村が「つがる市」となり、初めて迎える全国規模の交通安全運動である「春の全国交通安全運動」において、市民一同が会して悲惨な交通事故の絶無を祈念し、特に子供と高齢者の交通ルールの遵守と交通マナーの実践を図り、安全で

安心な明るい地域づくりを目指し行われました。

大会で福島市長は「三月二十七日で交通死亡事故ゼロ一年を向かえました。この時期は入学式が行われ、新入学生が登校することから、ドライバーの皆さんは黄色い帽子に気をつけてください」とあいさつ、その後、つがる地区交通指導隊長の成田弘志さんが交通安全宣言を行いました。

地元農産物を使った料理で長生きを

つがる市食生活改善推進員会設立総会



あいさつする藤本会長(左)と役員

三月二十八日、松の館で、つがる市食生活改善推進員会設立総会が行われました。

設立総会では、食生活の改善を図り、地域住民の健康の増進と福祉の向上をさせようと、木造、森田、柏、稲垣、車力地区の推進員らおよそ百八十人が出席しました。

総会では、各地区に支部を置くことを定め、会長に藤本フミ子木造支部長が選出されました。

開発途上国で医療活動

青年海外協力隊に参加

三月三十一日、平成十七年四月から二年間、青年海外協力隊員として中国に行く木造

浮巢の小鷹里美さんが、福島市長を表敬訪問しました。

小鷹里美さんは「小さいときから開発途上国での医療活動をするのが夢で、そのため看護師の経験を積んできました。自分が経験したことを、任地で生かし、少しでも国際協力に参加して、自分の人生経験を豊富にしたい」と話していました。

派遣先は、中国広西壮族自治区で、看護技術のレベルアップの協力、医療機器の使用、管理の指導、助言を行います。



福島市長を表敬訪問した小鷹里美さん

つがる市課・係の主な業務内容と職員を紹介します

《総務部》 部長 長谷川勝則
次長兼総務課長 成田隆博

総務課 課長補佐 山口修一、木村好秀

庶務係（表彰、各自治会、ボランティア活動等）
係長 竹内攻規 係員 蝦名かち子、其田美枝子、
山内あき子

行政係（公印、例規、議会の召集、行政組織、行政
区域等）
係長 山谷慎一 係員 平山栄治

文書広報係（情報公開、文書收受、広報刊行物、文
書管理、行政連絡員等）
係長 菊地芳生 係員 松木若子、清野竹人

秘書係（秘書事務、儀式、陳情、市長会等）
係長 粕谷竜一 係員 柴谷奈緒子、三上美知徳

交通防災係（災害救助、地域防災計画、交通安全、
交通災害共済等）
係長 奈良陽一 係員 佐藤公俊

人事課 課長 高橋和久 課長補佐 對馬勇造、
高橋一也

人事係（人事、給与、職員団体等）
係長 坂本潤一
係員 高橋祥子、木津裕人、工藤隆子

厚生係（職員の福利厚生、職員研修、労働・社会保
険等）
係長 原田恒行

情報政策課 課長 小林忠 課長補佐 成田靖治、
三上 保男

情報係（電算処理システムの開発、運営、保守管理、
セキュリティ等）
係員 横山 晃

政策係（電子自治体、情報ネットワーク等）
係員 赤平美春

行政改革課 課長 田村文英 課長補佐 清野幸喜

業務係（組織機構、事務改善、合併関連事務等）
係員 小田桐勇人

推進係（行政改革大綱、行政改革懇談会、行財政改
革等）
係長 成田紫香

工事検査室 室長 堀内昭雄 室長補佐 岩川正美

検査係（土木・建築工事の検査、技術的事項の事務
改善）
係員 三上恒寛

※今月号から随時掲載していきます。次回は、財政部
と民生部です。

市役所各課直通電話のおしらせ

市役所へおかけになった電話が大変つま
がりにくなっています。代表電話以外に
も直通電話がありますのでご利用ください。

市役所本庁代表電話 4 2 - 2 1 1 1

【市役所本庁舎1階】

財政部税務課	4 2 - 1 1 0 7
財政部収納課	4 2 - 2 1 6 3
福祉部福祉課	4 2 - 1 1 1 3
福祉部健康推進課	4 2 - 2 0 4 4
会計課	4 2 - 2 0 6 9
民生部市民課	4 2 - 1 1 0 8
民生部国民健康保険課	4 2 - 2 1 6 1
民生部環境衛生課	4 2 - 1 1 1 0

【市役所本庁舎2階】

財政部財政課	4 2 - 1 1 0 6
財政部企画課	4 2 - 2 3 7 2
財政部管財課	4 2 - 2 3 9 4
総務部総務課	4 2 - 1 1 0 5
総務部人事課	4 2 - 2 4 5 9
総務部行政改革課	4 2 - 2 4 7 4
総務部工事検査室	4 2 - 2 4 9 4
総務部情報政策課	4 2 - 2 7 9 6
監査委員事務局	4 2 - 2 4 9 8
選挙管理委員会事務局	4 2 - 2 5 4 0
建設部下水道課	4 2 - 2 5 9 3
建設部建築住宅課	4 2 - 2 6 4 8
建設部土木課	4 2 - 3 2 2 1
経済部農林水産課	4 2 - 1 1 0 9
経済部農村整備課	4 2 - 2 6 9 5
経済部商工観光課	4 2 - 1 1 1 4

【市役所本庁舎3階】

農業委員会	4 2 - 1 1 1 9
議会事務局	4 2 - 1 1 1 8

【支所等】

森田支所	2 6 - 2 1 1 1
柏支所	2 5 - 2 1 1 1
稲垣支所	4 6 - 2 1 1 1
車力支所	5 6 - 2 1 1 1
福祉事務所	2 5 - 3 1 1 6
つがる市出張所	2 7 - 5 0 2 1
市立成人病センター	4 2 - 3 1 1 1
つがる市消防本部	4 2 - 2 1 0 5
つがる消防署	4 2 - 2 1 0 1
森田分署	2 6 - 2 1 1 9
柏分署	2 5 - 3 1 1 9
稲垣分署	4 6 - 2 1 1 9
車力分署	5 4 - 3 1 1 9



●第二回屏風山山火事緑の再生ボランティア募集

緑を守る県民ボランティア活動事業に参加して、屏風山山火事跡地をみんなで再生しませんか？

山火事により貴重な森林が焼失しました。この森林を再生するため、ボランティアを募集します。

野外において軽作業ができる方であればどなたも参加できます。作業は植栽及び被害木の抜取をしていただきます。

日時 四月二十九日(金) みのりの日

午前九時(市役所集合) 午後三時

申込 電話又はファックスにて、氏名

(参加者全員)・住所・電話番号・年齢を連絡下さい

締切 四月二十日(水)(必着)

主催 屏風山山火事跡地緑の再生委員会

問い合わせ

市役所 農林水産課 畜産林務係

内線 四一四

FAX 四二一三〇六九

●農用地区域内からの除外手続きについて

農地を住宅や工場、駐車場、資材置き場等の用地にする場合、農地の転用許可が必要となりますが、その農地が農用地区域内にある場合は、農用地区域内から除外することが必要です。

この除外手続きは申請書を受理してから関係機関の意見徴収や審査、告示等の手続きが必要ことから、許可まで約四ヶ月程度の期間を要します。

申請に関しては、その点を考慮の上、次の受付期間内に申請を行って下さい。申請受付期間

第一回目 平成十七年四月十一日
～五月十日
第二回目 平成十七年九月十二日
～十月十一日

・事前相談を随時受付しています。
(申請書受付期間一ヶ月程度前を目安に相談して下さい)

問い合わせ

市役所 農林水産課 農政係

内線四二二

その命 愛とベルトで守ります

シートベルト・チャイルドシート着用
強調月間実施中

(4月1日～5月31日)

シートベルト及びチャイルドシートの着用が交通事故発生時における被害の防止・軽減に大きな効果があります。

運動の重点として、シートベルトの着用の徹底と後部座席の着用促進、チャイルドシートの使用と座席への正しい取り付けの徹底を図り、交通事故死亡事故をなくしましょう。

●春だ 桜だ つがる市民交流イベント 2005 つがる市「おやこウォークin地球村」

期日 平成十七年五月一日
場所 森田つがる地球村
種目 十五キロコース
スタート 九時

五キロ・十キロコース

スタート 九時三十分

受付 午前七時十分～

参加料 中学生以下 五百円
高校生以上 千円

(昼食バイキング、お楽しみ抽選会、健康相談コーナー有)

参加資格 年齢性別問いません
(小学生以下は保護者又は引率者が必要です)

締切 四月二十五日(月)



申し込み・問い合わせ

「おやこウォークin地球村」開催
実行委員会(つがる地球村(株)内)

電話 二六二二八五五

つがる市教育委員会スポーツ健康課
電話 四九一二二〇〇

火災の予防に努め、火災のない安全で安心して暮らせる街にしましょう

平成17年春の火災予防運動が実施されています

期 間 4月11日(月)～17日(日)

統一標語 「火は消した?いつもここに きいてみて」

この時期は、火災が発生しやすい気候になっています。

市民の皆様には防火に対する意識をいっそう高めていただき火災の発生を防止することにより、尊い生命や貴重な財産の損失を防ぎましょう。また、住宅火災による高齢者等の犠牲者をなくしましょう。

●つがる市火災件数年別比較

(1月～3月)

火災種別	平成16年	平成17年
建物	4	1
林野	2	0
車両	1	1
その他	4	0
計	11	2
負傷者	0	0

つがる市消防本部調べ

平成17年度 つがる市のごみ出し→分別区分と分け方・出し方

◎各地区の収集指定日は、それぞれの地区の「日程表」か「こよみ」をご覧ください。

民生部環境衛生課

分別区分	指定地区	○出せるもの (×出せないもの：)	分け方・出し方のご注意
燃やせるごみ	全地区	○紙（下記の資源紙ごみを除く）、木、布 ○家庭の生ゴミ、本草（金属、プラなどは取る） ○貝がら（アサリ、シジミ貝など） ×出せないもの：製造・販売活動から出た可燃ごみ	・生ゴミの水切りは十分に
燃やせないごみ	全地区	○ほかのどれにも該当しないもの ×出せないもの：製造・販売活動から出た不燃ごみ	・埋め立てごみ（不燃ごみ）の減量化にご協力を！
ペットボトル 	全地区	○ペット1マークのプラ製ボトル ×出せないもの： 塩ビ製のボトル※→「その他のプラスチック」へ （※底に、横一文字の貼り付け跡があるボトル）	・プラ製のふたは「その他のプラスチック」へ ・中身をカラにして水でゆすぐ
ガラスびん （空きびん）	全地区 うち、3色に分別＝森田地区	○無色・茶色・その他の色のガラスびん ×出せないもの： 乳白色のびん→「燃やせないごみ」へ 農薬のびん→農協・販売店等へ びんでないガラス→「燃やせないごみ」へ	・金属製のふたは「燃やせないごみ」へ ・中身をカラにして水でゆすぐ
缶類（空き缶）  	全地区 うち、2種に分別＝森田地区	○スチール缶、アルミ缶 ○スプレー缶（穴をあけて、完全にガスを出す） ×出せないもの： 缶でない鍋、やかん→「燃やせないごみ」へ 農薬の缶→農協・販売店等へ	・中身をカラにして水でゆすぐ ・つぶす（固い缶はそのまま）
その他のプラスチック  （識別マーク）	全地区	○卵・納豆・豆腐などのプラ製パック ○インスタントめん類のプラ製のカップや袋 ○ヤクルト・ヨーグルトなどのプラ製容器 ○スナック菓子のプラ製容器・袋 ○洗剤・シャンプーなどのプラ製容器 ……など、中身が商品であった入れ物・つつみ（プラ製・ビニール製のレジ袋を含む。） ×出せないもの： 農業のプラ・ビニールごみ→農協・販売店等へ CD・MD・FD等とケース→「燃やせないごみ」へ	・中身をカラにして水でゆすぐ（納豆のめめりは、水にしばらくくつつけると落ちがいです。） ・金属製のふたは「燃やせないごみ」へ（プラ製のふたは、この「その他のプラスチック」です。）
白色トレー	木造、柏、森田地区	○プラ製の白い食品トレー	・汚れを落とす
発泡スチロール	木造、柏	○家電固定用の発泡スチロールなど	・PPひもでしばってもOK
その他の紙 	全地区	○商品が入っていた紙製の容器（入れ物・カラッコ）や包装（つつみ紙など）（レジの紙袋も含む。） ○商品の保護・固定用の紙の台紙（ワイシャツなどの襟・袖の保護台紙）	・クワイーム・ソースはふき取る（または、サッと水洗いする） ・汚れ落としがむずかしい紙ごみは「燃やせるごみ」へ
紙パック 	全地区	○牛乳などの中面が白い紙/パックだけ ×出せないもの： 中面が銀色（アルミ）の紙/パック→「その他の紙」へ	・プラ製のふたは「その他のプラスチック」へ ・水でゆすいで切り開く
新聞（チラシ）	全地区 木造＝6月～	○新聞 ○チラシ（新聞折り込みのものだけ）	・型くずれしないようにする ・セロテープ、ビニール類、金属などは取りのぞく
書籍・雑誌	全地区 木造＝6月～	○本、雑誌、週刊誌、漫画本、単行本、広報誌、広報チラシ、コピー紙、カレンダー、紙の封筒…などの雑紙（ざつがみ）	・（他人に見せたくないものは除く）
段ボール	全地区	○段ボール製の紙・箱	・箱はつぶすか切り開く ・型くずれしないようにする

容器（カラッコ）や包装（つつみ）に「識別マーク」が書かれてあるの
で、それを見ながら分けてネ！

木造地区の古紙も（段ボール含む）ひもでしばれば袋に入れなくてもいいことになりました！なお、大きさは1m前後に！

